

親の学びあい講座

進行例・ワークシート
(中学生保護者向け)

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その1

1 テーマ名 親は学ぶ姿勢、持ち続けていますか？(8つのすすめ①)

2 テーマのねらい

- ・大人の学ぶ姿勢が子どもに与える影響について考えます。

3 テーマ説明

- ・子どもが自発的に物事に取り組むことに対して大いにほめ、子どもの意欲を伸ばすとともに、大人が学ぶ機会を持つことが子どもに与える影響について考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4~6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：大人の学ぶ姿勢が子どもに与える影響について考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、「息子」の気持ちを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに与える影響を考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その1)

テーマ「親は学ぶ姿勢、持ち続けていますか？」

エピソード

中1の息子が、ジュニアかなざわ検定を受検するため、一生懸命勉強に励んでいました。

生まれも育ちも金沢の私は、金沢についてはよく知っていると思っていましたが、息子が勉強に使っている問題集に挑戦してみると、金沢の歴史や文化、偉人、産業など幅広い分野から出題されており、思ったよりもずっと難しかったです。その難しい問題に挑戦している息子がすごいと思い、私は息子をほめ、励ましました。

受検結果は息子が思ったとおりにならなかったようでしたが、息子は、来年も受検し、今年のリベンジをするためにもう一度勉強するようです。

そんな息子の姿を見て、私も生まれ育った金沢について知りたくなり、今年の金沢検定に挑戦しようと勉強中です。



ワーク1 挑戦しようと勉強をする姿を見て、息子はどう思うでしょうか。

ワーク2 親の姿勢が子どもに与える影響は、どのようなものでしょうか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その2

1 テーマ名 大人が見せるマナーの手本とは？(8つのすすめ②)

2 テーマのねらい

- ・公共の場のマナーについて、大人が子どもに示す姿を見つめ直すきっかけとします。

3 テーマ説明

- ・ルールを守らない大人を見たときの子どもの気持ち、ルールを守らないことを注意しない大人の姿から、ルールを教えることの大切さについて考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4~6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：公共の場のマナーについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用 ※役をつけてロールプレイをしてもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、①~④の人物の気持ちを考え てもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を 持って書いたことを話し、終 わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表しても らう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回 目以降は自由
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・娘と息子への声かけについて考え、ふせんに記入 してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを 整理する(似たような意見の整理など) <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見 回りながら声かけをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時 計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入す る 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするた め、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば何人かに発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その2)

テーマ「大人が見せるマナーの手本とは？」

エピソード

私は、中1の娘と小2の息子と電車に乗る順番を並んで待っていました。電車が到着しドアが開くと、後ろから低学年くらいの子が「僕が席をとってあげるよ」と真っ先に乗り込んで行きました。車内に入ると、さっきの子が母親の場所を確保し、母親に「ここ座ろう」と言うと、母親は笑顔で「ありがとう」と言い、座りました。その様子を見ていた娘は、私の顔を見ました。



ワーク1

- ① 「ありがとう」と言って座った母親を見た、「『私』の娘」の気持ち
- ② 「ありがとう」と言って座った母親を見た、「『私』の息子」の気持ち
- ③ 低学年くらいの子の気持ち
- ④ 「ありがとう」と言って座った母親の気持ちを考えてみましょう。

ワーク2

自分が「私」だったら、「ありがとう」と言って座った母親の様子を見て、娘と息子にどのように声をかけると思いますか。

ふりかえり

テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その3

1 テーマ名 あいさつはコミュニケーションの第一歩 (8つのすすめ③)

2 テーマのねらい

- ・ 日常生活にありそうな場面を想定して、あいさつについて考えます。

3 テーマ説明

- ・ あいさつはコミュニケーションの第一歩。しつけの中でも、「あいさつをできる子に育てたい」と思う親は多いですが、なかなか身につかないとも感じています。そこで、エピソードや実際の経験をもとに、大人も子どもも気持ちのよいあいさつを交わすための工夫について考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例 (60分)

【事前準備】

- ・ 石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・ あらかじめ、4~6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：あいさつについて考える ○学習の約束を確認する (P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク (資料参照) 	
3分	<p>ワーク1 (15分) ・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エピソードを読み、「私」の気持ちを記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらおう 	
5分	<p>ワーク2 (25分) ・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や近所の人たちと気持ちのよいあいさつを交わすためにしたいことをふせんに記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい ・ 話す (ふせんを貼る) 順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する (似たような意見の整理など) <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする</p>	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その3)

テーマ「あいさつはコミュニケーションの第一歩」

エピソード

私は毎朝出勤する時、近所に住む中学生の男子生徒といつもすれ違います。

すれ違うときにいつも「おはよう」と声をかけるのですが、一度もあいさつが返ってきたことはありません。



ワーク1 「私」の気持ちを考えてみましょう。

ワーク2 家族や近所の人たちと気持ちよいあいさつを交わすために、どのようにしていきたいですか。

ふりかえり このテーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その4

1 テーマ名 子どもの心によりそっていますか？ (8つのすすめ④)

2 テーマのねらい

- ・ 日常生活にありそうな場面を想定して、家族のふれあいについて考えます。

3 テーマ説明

- ・ 子どもは中学生になると、勉強に部活に忙しくなります。また、家族との関係より友だちとの関係を優先するようになるのもこの時期です。家族間でどうふれ合えば、お互いの気持ちを理解することができるかについて考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例 (60分)

【事前準備】

- ・ 石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・ あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：家族のふれあいについて考える ○学習の約束を確認する (P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク (資料参照) 	
3分	<p>ワーク1 (15分)・石を使用 ※役をつけてロールプレイをしてもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エピソードを読み、「私」の気持ちを記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらおう 	
5分	<p>ワーク2 (25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母がどう迎えれば良かったかについて、ふせんに記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい ・ 話す (ふせんを貼る) 順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する (似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その4)

テーマ「子どもの心によりそっていますか？」

エピソード

私は中学2年生。部活動が終わった後、公園で友だちとクラスのことや先輩・後輩のことなどいろいろ話していたら、帰りがすっかり遅くなり、家に着いたのは20時過ぎでした。

私「ただいま」

母「あんた、何時やと思っとる！ いったい今まで何しとった！」

私「友だちと公園で話しとっただけ」

母「おしゃべりする時間があるなら、早く帰って少しは勉強したら？ 最近、成績も下がっ
とるし！」

私「うるさい！ 今勉強のことは関係ないやろ。もう、意味分からん！ お母さんと話したくない！」

母「ちょっと待ちなさい！」

私「……………」(自室にかけ込む)

母「もう、勝手にしなさい！」(家事の続きをし始める)



ワーク1 「私」の気持ちを考えましょう。

ワーク2 帰りが遅かった「私」を、母はどのような言葉で迎えば良かったでしょうか。

ふりかえり このテーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その5

1 テーマ名 子どもの思い、受け止めていますか？ (8つのすすめ⑤)

2 テーマのねらい

- ・「いじめ」についての親の関わりについて考えます。

3 テーマ説明

- ・「いじめ」はあってはならないものですが、子どもがいじめの場面に遭うこともあるかもしれません。子どもがいじめる側でもいじめられる側でもない第三者の立場での場面を通して、親の関わりについて考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例 (60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：「いじめ」についての親の関わりについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク (資料参照) 	
3分	<p>ワーク1 (15分) ・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、「私」が思ったことを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	
5分	<p>ワーク2 (25分) ・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・娘にかけることばを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする (10分) ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その5)

テーマ「子どもの思い、受け止めていますか？」

エピソード

私の娘は中学2年生。最近少し元気がありません。娘の様子が気になったので、それとなく最近の出来事を聞いてみました。すると、娘はこう言いました。

娘：「今、クラスで、特定のクラスメートを見捨てる『いじめ』があるの。私が見捨てられているわけではないけど、何とかいじめを止めたい。でも、私がそれを言うと、今度は私がいじめのターゲットになるのではないかと思って、どうしたらいいかずっと悩んでいるんだ。どうしたらいいと思う？」



ワーク1 娘の話聞いた「私」は、どんなことを思ったか考えてみましょう。

ワーク2 あなたが「私」だったら、娘にどのようなことばをかけますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その6

- 1 **テーマ名** 「魔法のことば」ってどんなことば？ (8つのすすめ⑥)
- 2 **テーマのねらい**
 - ・ 気持ちを伝えることの大切さについて考えます。
- 3 **テーマ説明**
 - ・ ことばの持つ温かさを「ありがとう」という感謝のことばを通して考えていきます。
- 4 **主な対象** 中学生の保護者
- 5 **テーマの進行例 (60分)**

【事前準備】

 - ・ 石、A3用紙：各グループの中央に置く
 - ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
 - ・ あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：気持ちを伝えることの大切さについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク (資料参照) 	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ○ワーク1 (15分)・石を使用 ・ エピソードを読み、自分が親に伝えればよかったと思うことばについて記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ワーク2 (25分)・ふせん、A3用紙を使用 ・ かけられてうれしかったことばを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する (似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その6)

テーマ「魔法のことばってどんなことば？」

エピソード

私(中2)はアレルギーがあるので、学校へは毎日お弁当を持参しています。

お弁当は母が作ってくれていますが、今週、母は忙しかったのか、必ずおかずが卵焼きが入っています。美味しいと思っても、1週間は長すぎて、正直食べ飽きていました。

そこで、私は母に「いつもお弁当ありがとう。でも、今週ずっと卵焼きが入ってるよ。」と言ったら、母は「お弁当の彩りに気をつけていたら、ずっと卵焼きを入れてたわ。ごめんね。教えてくれてありがとう。」と私に言いました。



ワーク1

かつて、あなたが親(祖父母も含む)に「伝えれば良かった」と思ったことばはありますか。それはどんなことばですか。

ワーク2

日頃の生活の中で、かけられてうれしかったことばはどんなことばですか。

ふりかえり

テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その7

1 テーマ名 良い生活リズムのポイントは？(8つのすすめ⑦)

2 テーマのねらい

- ・ 中学校入学を機に生活リズムが一変する中で、良い生活リズムについて考えます。

3 テーマ説明

- ・ 食生活の自己管理を促すために親ができることについて考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・ 石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・ あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：中学校入学を機に生活リズムが一変する中で、良い生活リズムについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私」が思ったことを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規則正しい食習慣のために親として心がけていることを、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい ・ 話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする</p>	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする(10分) ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その7)

テーマ「良い生活リズムのポイントは？」

エピソード

私には中学1年生の子どもがいます。最近、寝起きが悪く、朝食も食べたがらない日々が増えています。何か心配事があるのではと思い、本人に聞いてみても、「別に」と答えるだけです。心配事があるわけではなさそうです。

ある日、家のゴミをまとめていると、子どもの部屋のゴミに、お菓子の袋がいくつもあるのを見つけました。どうも、隠れて食べていたようです。



ワーク1 お菓子の袋があるのを見つけたとき、「私」はどう思ったでしょうか。

ワーク2 規則正しい食習慣のために、あなた自身が親としてどんなことを心がけていますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(中学生版)

(1) 進行例その8

1 テーマ名 子どもの夢、応援していますか？(8つのすすめ⑧)

2 テーマのねらい

- ・子どもの夢を応援することの大切さについて考えます。

3 テーマ説明

- ・子どもは成長するにつれて、将来の夢を描くようになります。子どもがめざす夢を親が応援することが、いかに子どもにとって心強いかにについて考えます。

4 主な対象 中学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：子どもの夢を応援することの大切さについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、子どもの夢を応援するためにできることを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの夢を応援することが子どもの将来に与える影響を考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする(10分) ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

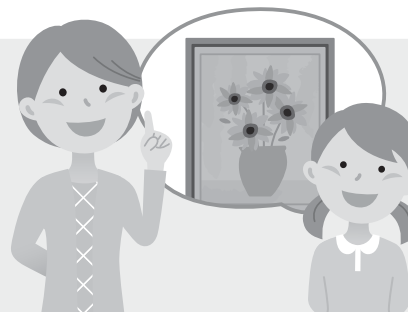
ワークシート
(その8)

テーマ「子どもの夢、応援していますか？」

エピソード

私の娘(中2)が、将来美術大学の進学を希望していることもあり、休日には家族でよく美術館へ行きます。

美術館で展示されている絵を見て、娘は絵の描き方やタッチについて感想を言いますが、美術に関心をそれほど持っていない私は、娘に何か言ってあげたいと思いつながら、何も言えませんでした。



ワーク1

「私」は保護者として、子どもの夢を応援するためにどうしたらいいと思いますか。

ワーク2

親が子どもの夢を応援することで、子どもはどんな気持ちになると思いますか。

ふりかえり

テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

